

子育て支援・少子化対策に関する県民意識調査（抜粋）

子育て支援・少子化対策に関する県民意識、ニーズ、満足度等を調査することにより、新たな計画の策定に向けた基礎資料を得ることを目的として、平成 16, 20, 25, 30 年度に「子育て支援・少子化対策に関する県民意識調査」を実施しました。

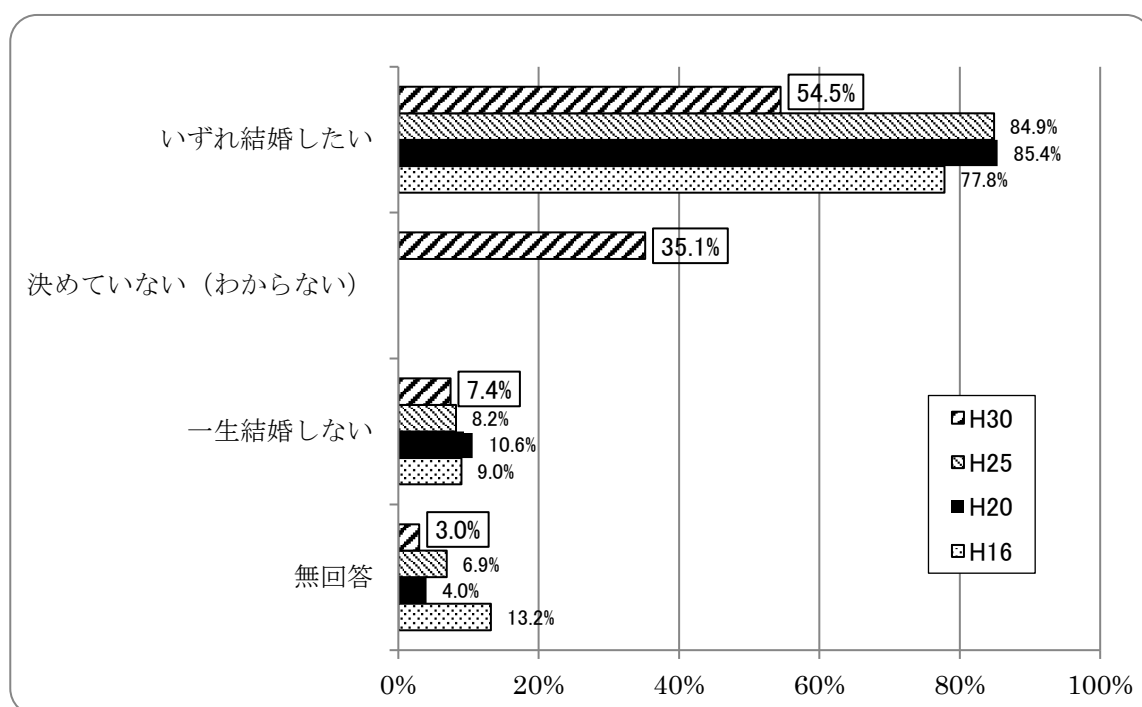
《調査の概要》

調査地域	山口県全域
対 象	県内に居住する 20 歳以上 50 歳未満の男女
標 本 数	3,000 人（男女各 1,500 人）
抽出方法	住民基本台帳からの層化無作為抽出（全市町より抽出）
調査方法	郵送によるアンケート
調査時期	H16. 7. 8～7. 31、H20. 11. 17～12. 8、H25. 11. 20～12. 11、H31. 1. 10～1. 30
回答状況	H16:1,048 名（回収率 34.9%）、H20: 1,137 名（回収率 37.9%） H25:1,111 名（回収率 37.0%）、H30: 839 名（回収率 28.0%）

【調査結果の概要】

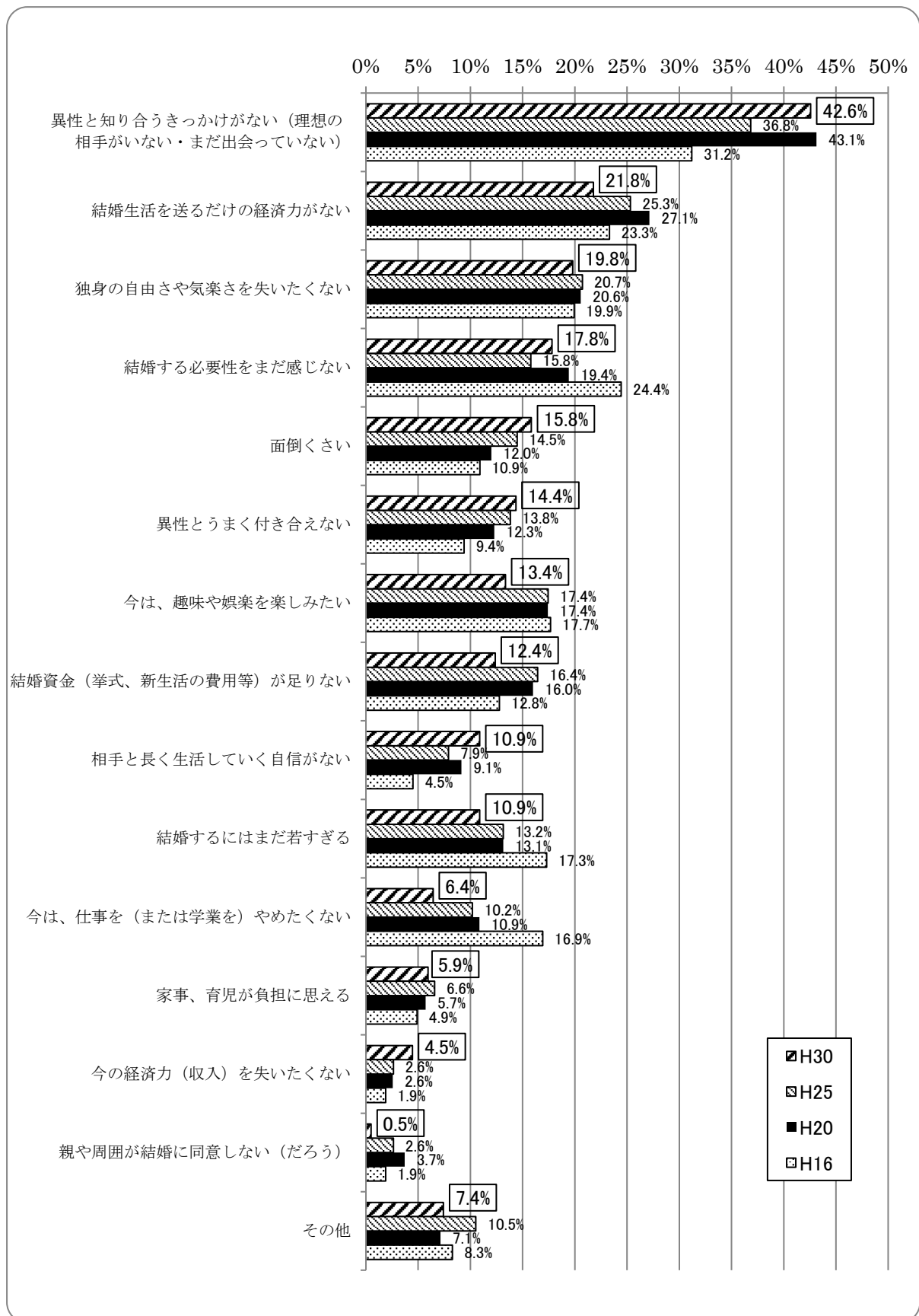
1 未婚者の生涯の結婚意思

「いずれ結婚したい」と考える未婚者の割合は 54.5%、「決めていない（わからない）」と考える未婚者の割合は 35.1%となっています。「一生結婚しない」と考える未婚者の割合は 7.4%と約 1 割程度の比率で推移しています。



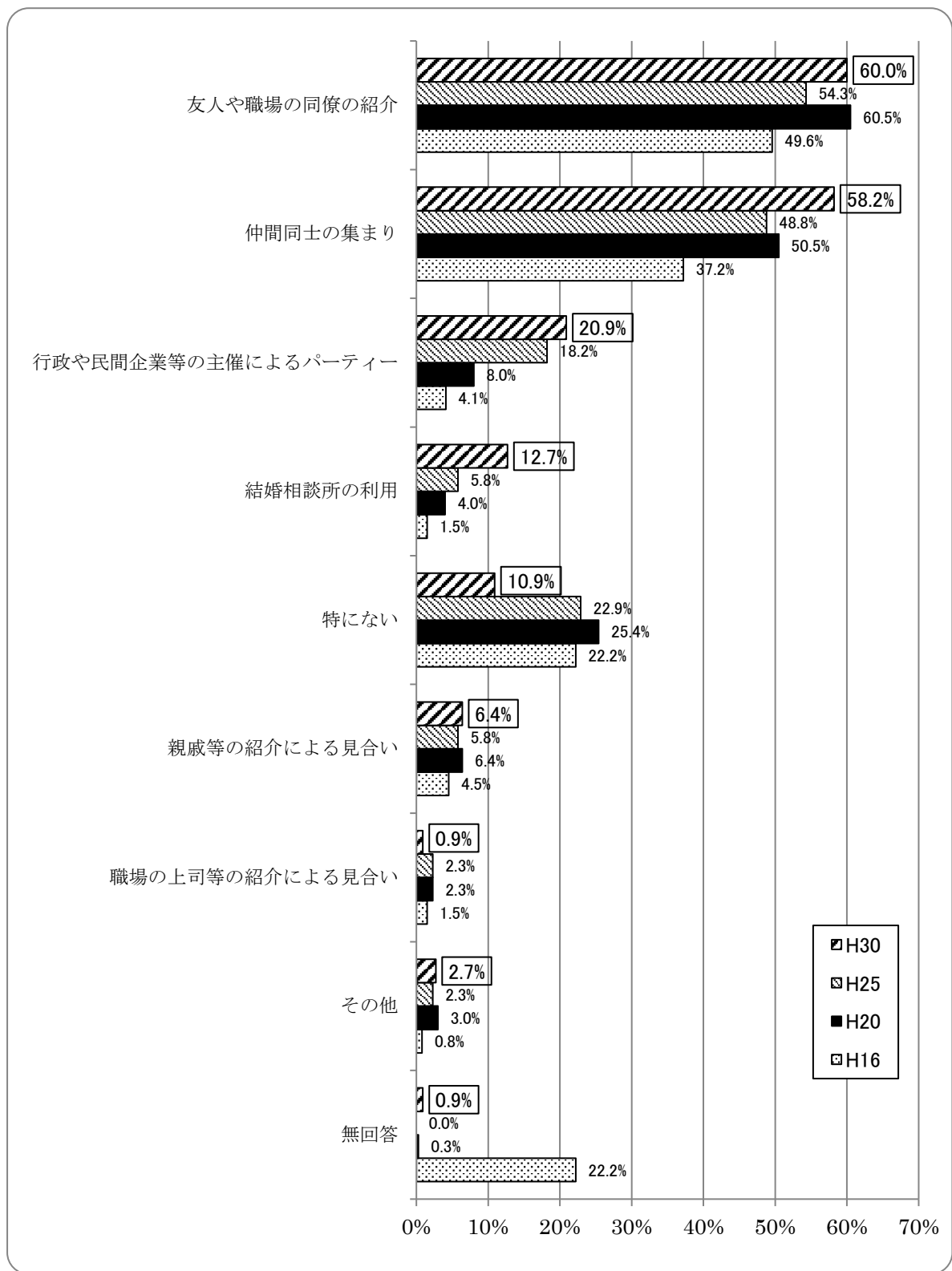
2 結婚しない理由

「異性と知り合うきっかけがない」が42.6%と、前回（H25）までの調査と同様、最も多くなっています。



3 結婚相手と出会うきっかけとして望むもの

「友人や職場の同僚の紹介」が60.0%と、前回（H25）までの調査と同様、最も多くなっています。

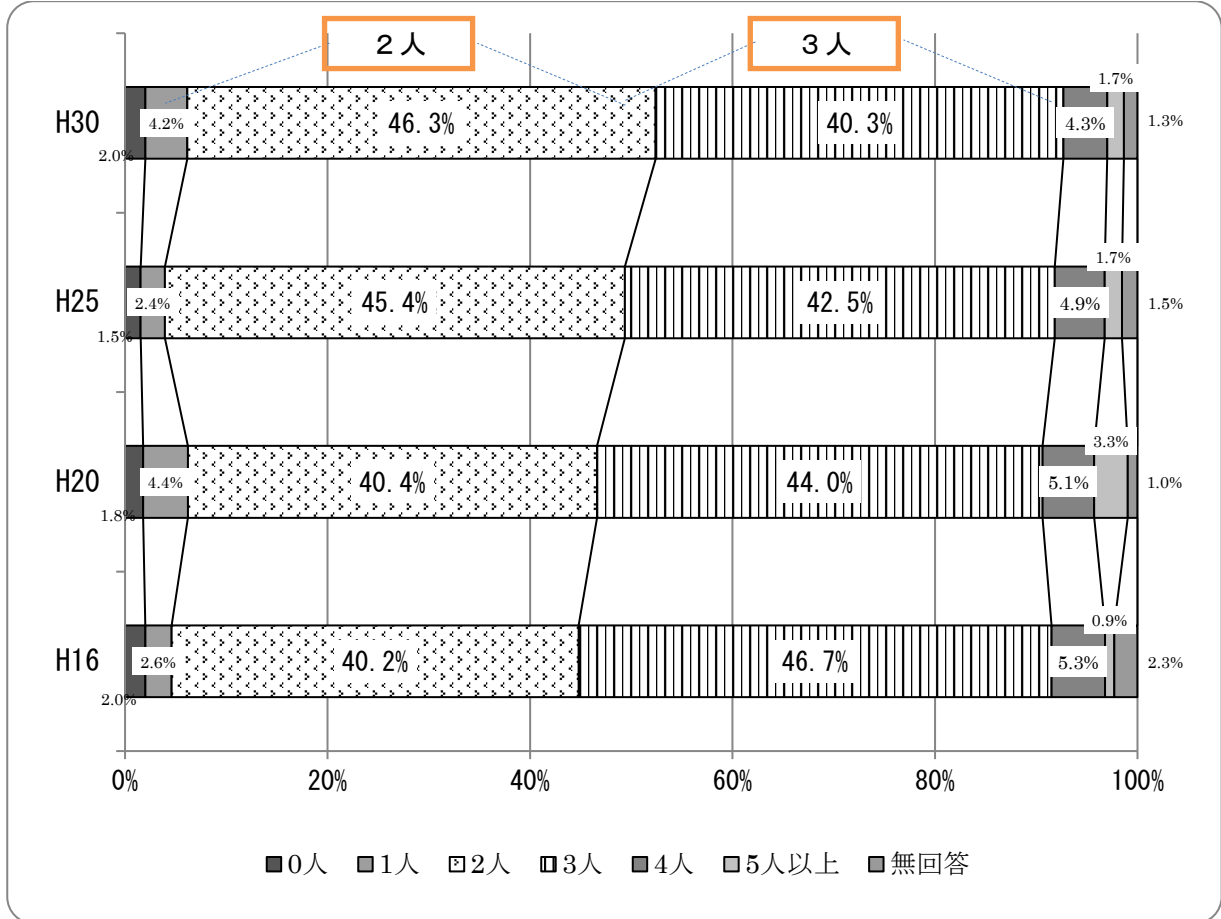


4 理想の子どもの数と現在の子どもの数

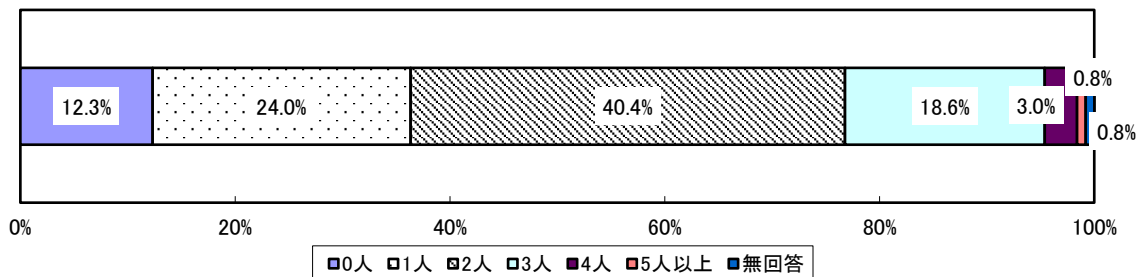
既婚者の理想とする子どもの数は、前々回(H20)までは「3人」が最も多かったですが、前回(H25)の調査に引き続き今回(H30)の調査でも「2人」が46.3%と最も多くなっています。

現実の子どもの数は、「2人」が40.4%と最も多くなっています。

[理想の子どもの数]

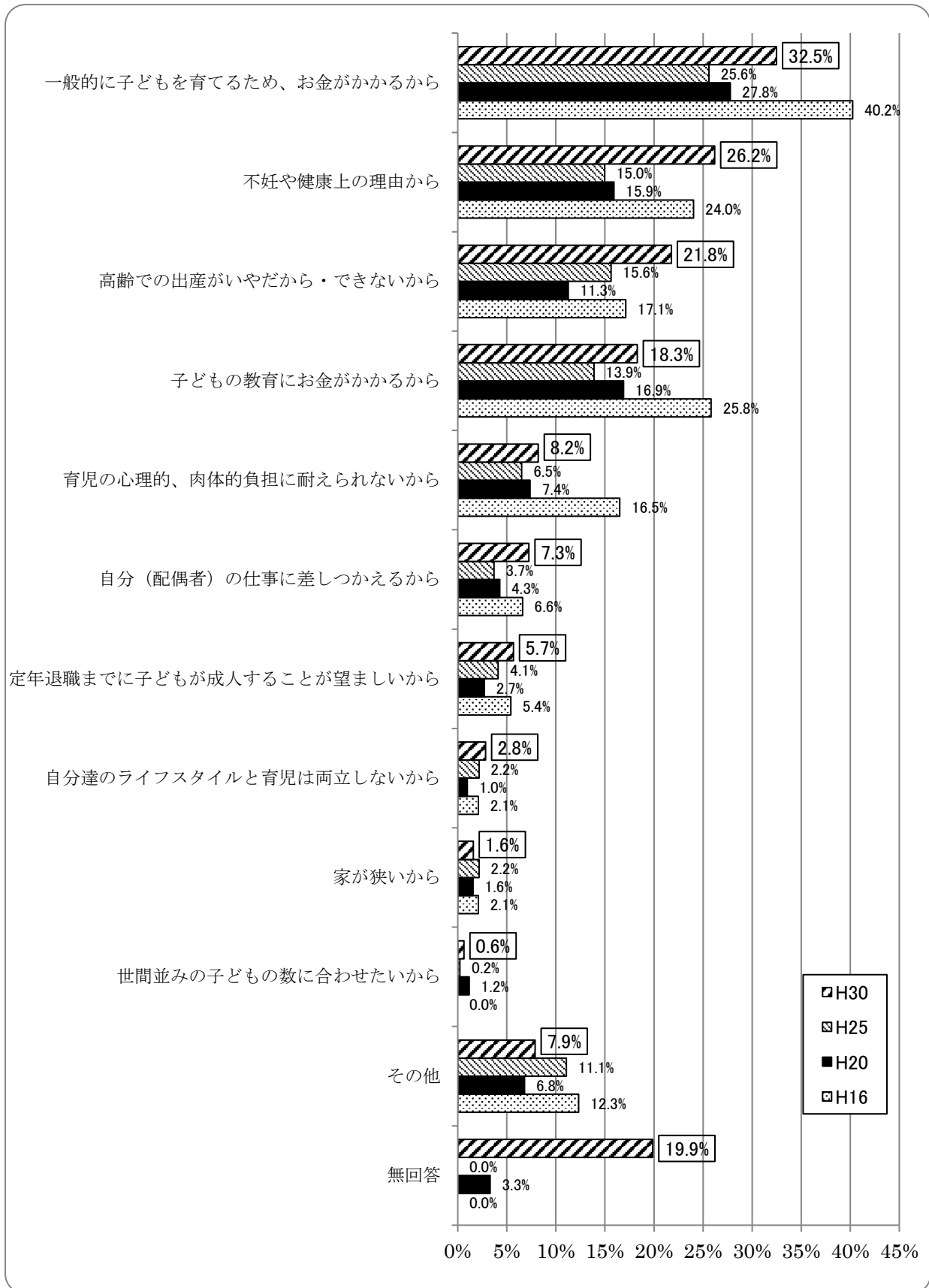


[現在の子どもの数：H30]



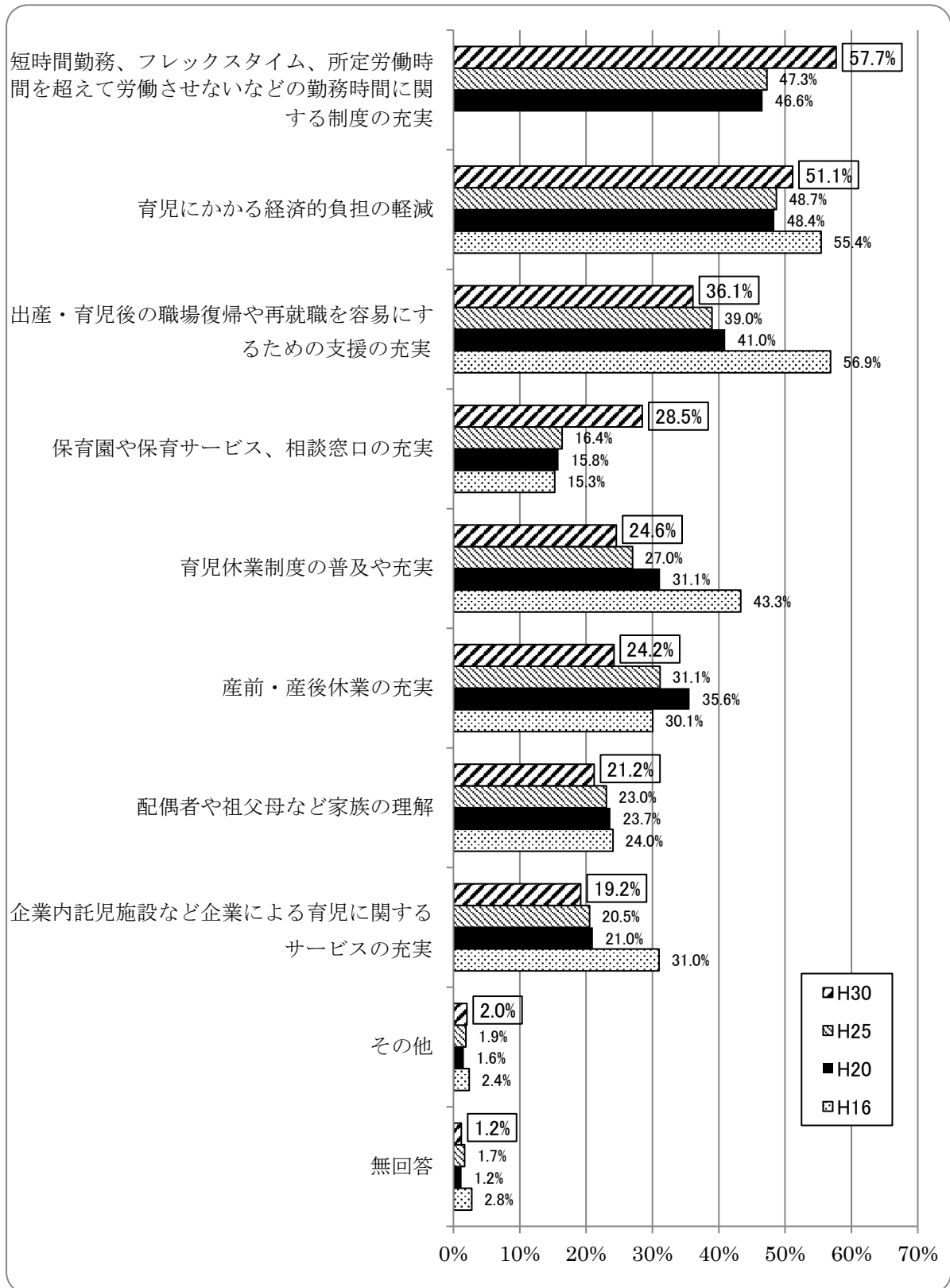
5 理想とする子どもの数を持たない理由

養育費、教育費などの経済的理由や、不妊や健康上、高齢、育児負担などの身体的・心理的理由によるものが多くなっています。



6 出産・育児と職業生活を両立しやすくするために必要なこと

「短時間勤務等の勤務時間に関する制度の充実」が57.7%と最も多く、次いで、「育児にかかる経済的負担の軽減」、「出産・育児後の職場復帰等を容易にするための支援の充実」などの順となっています。



7 行政に充実してほしい施策

今後、行政に充実してほしい施策については、「子育てと仕事が両立できる職場づくり」が48.2%で最も多く、次いで、「乳幼児医療費や保育料の負担軽減など経済的支援の充実」、「奨学金制度の充実など教育費に対する支援の充実」などの順となっています。

